該当学年	授 業 科 目 名	担	当 教 員
1部2年 2部2年	専門体育Ⅱ	高橋 人美	
サブタイトル	創造力豊かな表現力と身体運動の実践	単位数	1
授業形態	演習		
開講時期	後期	出席要件	4/5以上

到 達 目 標

- 1. 学生自身が心身の健康について学び、健康な保育者を目指す。
- 2. 保育者としてあそびを通して、目的を達成する方法を楽しく学び、実践力を身につける。
- 3. 子どものあそびから、身体表現あそびの楽しさを伝える技能を身につける。

ディプロマ・ポリシー (専門士授与の方針) との関連

- 1. 個々の課題について積極的に取り組む姿勢と、個々の役割を責任もって成し遂げる力を育てる。
- 2. 保育現場に立つ専門職として、積極的に受講することで知識・技能および豊かな表現力を学ぶ。
- 3. 協働学習を通して、保育者に必要な人間関係調整能力(傾聴力、状況把握力)を培い、グループ 活動において貢献する力を身につける。

授業 の 方 法

- 1. 保育者として、子どもの発育発達をふまえ、運動あそびを考案し実践する。
- 2. 多種多様なあそびの教材研究と指導法を学びあう。
- 3. 振り返りシートを活用する。

テキスト・教材・参考図書

テキスト: 『身体表現・創作シリーズ』 桐生敬子編著 音楽之友社 2014年 (2) たのしい体操作品集

評価の要点	総合評価割合	
1. 保育者になって活用できるノート	実技試験 40%)
2. 課題レポート	レポート 40%)
3. 実技試験(個人とグループ)	授業への貢献度 20%)
4. 積極的な授業への取り組み		

履修上の注意事項や学習上の助言など

- 1. 心身の健康管理をする。
- 2. 教科専用のノート (A4ファイル) を用意し、毎時間の授業内容を記録する。
- 3. 課題レポート(振り返りシート、教科ノート等)は提出期限を厳守する。
- 4. 専門体育に関する注意事項を必ず守り受講する。

科 目 名 専門体育Ⅱ

	<u>科 目 名</u>	専門体育Ⅱ
	授 業 回 数 別 教 育 内 容	身につく資質・能力
1回	ガイダンス ・授業の目的・内容の説明と受講上の注意事項について ・自己の体力、健康状態について知る	授業内容の理解 健康管理の理解
2回	幼児体操と集団行動 ・体操の復習と動きの師範 ・集団のまとめ方(列の作り方、号令のかけ方、誘導の方法)	状況判断能力と指導力 コミュニケーション力
3回	集団あそびの指導と実践① ・グループで年齢別ルールのあるあそびをまとめる ・あそびの目的を捉えて指導計画を作成する	運動あそびの理解 協働学習能力
4回	集団あそびの指導と実践② ・グループで指導計画をもとに指導を実践する ・指導後振り返りをする	運動あそびの指導力と 対応能力 協働学習での役割と責任
5回	手作り遊具の作成とあそびの展開 ・身近な材料で遊具(リング。フリスビー)をつくり、創意工夫し てあそびを展開する	教材研究 運動技能の習得
6 回	身体表現運動① ・絵本を通して模倣表現からリズミカルな表現創作 ・絵本の選択=保育者の視点で年齢に応じた作品選びと内容の決定	課題探究能力 協働学習での役割と責任 積極的な発言力
7回	身体表現運動② ・絵本の内容から登場物の特徴をことばで表す ・場面を捉えて、登場物になりきって模倣表現する	豊かな表現力 観察力、洞察力
8回	身体表現運動③ ・特徴ある動きを使って空間構成し完成する ・イメージに合う音選びと編集、作品完成	身体運動と表現力 協力する力
9日	身体表現運動④ ・作品発表と評価	協働学習の成果 豊かな表現力 評価判断力
10 回	体育あそび① (マット・跳び箱・平均台) ・子どもの発育・発達をふまえ、多様な運動あそびを考案し実践 する	用具の使用方法 安全面への配慮 指導法の理解
11回	体育あそび② (ボール・なわ・フープ) ・用具の特性や運動のねらいを理解する ・多様な運動あそびを考案し実践する	用具の使用方法 安全面への配慮 運動技能の習得
12 回	体育あそび③ (パラバルーン・ポンポン・フープ) ・手具の特性や運動のねらいを理解する ・リズムに合わせて動きを考案する	手具の使用方法 表現力の習得
13 回	季節のあそび体験① ・多様な遊び方や援助の仕方を学び、楽しさを知る ・手作り凧の作製と凧揚げを経験する	伝承遊びの運動効果の 理解 反復練習の必要性と効果
14 回	季節のあそび体験② ・多様な遊び方や援助の仕方を学び、楽しさを知る ・竹馬、お正月あそびを経験する	伝承遊びの運動効果の 理解 反復練習の必要性と効果
15 回	まとめ ・保育者としての視点で授業を振り返る ・保育現場でこの学びをどのように活用するかをまとめる ・教科(個人)ノートのまとめと提出	自己評価 課題の明確化
試験	評価の要点に基づき実施する	